

# 順接と逆接の境界

## —テモ構文に外国語の順接表現が使用される場合を例に—

蓮沼 昭子 (創価大学文学部)

hasunuma@soka.ac.jp

### 【要約】

同一の事態に順接条件と逆接条件のどちらを使用するかは、言語によって異なる場合がある。本稿は、日本語では「テモ」の使用が自然な場合に、英語・中国語では順接条件が使用されることがあるという先行研究の指摘に基づき、日本語母語話者および6つの外国語を母語にもつ日本語学習者に対しアンケート調査を実施し、この点の検討を行った。韓国語話者に対しては、日本語版とその韓国語訳版の両方を用いて調査を行なった。その結果、韓国語話者は日本語話者に近い選択傾向を見せるのに対し、中国語話者は日本語話者と顕著な相違を示すことが分かった。そして、こうした相違が生じる理由は、テモ構文が内在的に有している順接条件としての特性から説明可能であることを示した。

### 1. はじめに

日本語の逆接条件を表す「テモ」に対し、外国語では順接条件を使用するほうが自然な場合がある。例えば、以下の(1)～(3)がそうした例で、それぞれ、バスの停留所で待っている人に助言をするという文脈での発話である。

- (1) a ここで待っていても、バスは来ませんよ (=バスには乗れませんよ)。あちらでお待ちにならないと…  
b ??ここで待って {いれば/いたら}、バスは来ませんよ。
- (2) a #Even if you wait here, the bus won't pick you up. (藤井 2002 の例)  
b If you wait here, the bus won't pick you up.  
[直訳：ここで待っていれば、バスには乗れませんよ。]
- (3) a 你在这等，车也不会来的。[ここで待っていても、バスは来ないでしょう。]  
b (如果)你在这等的话，会搭不到车的。[(もし)ここで待って {いれば/いたら}、バスに乗れないでしょう。]

(1a)の日本語の例では、「テモ」を使うのが自然であり、順接条件の「バ」「タラ」は使いにくい。一方、英語・中国語では、順接条件の使用が不自然ではなく、むしろ、逆接条件の使用の方に制約がある。この文脈で、英語の例(2a)での“even if”の使用は非常に不自然で、(2b)のように“if”を使わなければならない(藤井 2002)。(3a)の中国の例には、「どこで待っても乗れない」といった無礼できついニュアンスがあるのに対し、(3b)は「ここではバスに乗れない」という事実を伝え穏やかに注意する気配りのある言い方で、この場面にふさわしい表現であるとされる(張 2011)。

韓国語の場合は、次の(4a)(4b)のどちらも使用可能とされる(ユン 2012)<sup>1</sup>が、日本語では、

<sup>1</sup> ユンによると、(4b)は、「他のところで待たずに、ここで待っているとバスは来ません」という意味で使用されるとのことである。なお、2012年度後期に筆者が担当した東京外国語大学の「日本語研究」の韓国人受講生3人に、(4a)(4b)のニュアンスの相違を尋ねたところ、三者三様の意見が返ってきた。①どちらにもあまり

助言の意図を表す表現としては順接条件の「バ」「タラ」よりも「テモ」のほうが自然である。

- (4) a 여기서 기다려도 버스는 오지않아요. [ここで待っていても、バスは来ません。]  
b 여기서 기다리면 버스는 오지않아요. [ここで待って {いれば／いたら}、バスは来ません。]

以上のように、日本語で「テモ」が好まれて使用される例に対し、外国語では順接表現の使用が自然になる場合があり、順接と逆接の境界は、言語によってずれを示す場合があることが分かる。本稿では、こうした違いが生ずる理由、および「順接」「逆接」というカテゴリーにおいて日本語が示す特徴を、英語・中国語・韓国語と対照させ考えてみたい。

## 2. 「テモ」の用法分類と対応する外国語の表現

本題に入る前の準備として、前田(1993)の「テモ」の用法分類を基準に、「テモ」と英語・中国語の対応関係について整理しておきたい。

### 2-1. 「テモ」の用法分類

前田(1993)では、「テモ」の条件用法を以下の①～④の4種類に分類している。

#### ①並列条件

- (1) 3を自乗すると9になるし、-3を自乗しても9になる。

#### ②並列・逆条件

- (2) 結婚すれば悔恨あり、結婚しなくても悔恨あり。

#### ③逆条件

- (3) このカメラ、水に濡れても壊れません。

#### ④特殊用法

- (4) ご飯を食べても酒を飲んでも太らない。  
(5) 食べても食べても太らない。  
(6) 食べても食べなくとも太らない。  
(7) 誰に頼まれても、私は断る。  
(8) 天地がひっくり返っても絶対<sup>①</sup>にありえない。

①並列条件は、2つの順接条件が並列される場合で、2番目の文では、「タラ・バ・ト」は使用できず、代わりに「テモ」が使用される。②並列・逆条件は、並列条件の1種と言えるが、条件節の述語の肯否が前後で逆になっている点が①と異なる。③逆条件は、予測される条件・帰結関係に反する関係を表す。④特殊用法は、条件節に複数句の反復、不定語、比喩的な表現が使用される場合で、「いずれの条件でも」「どのような条件でも」という意味を表す。不定語を含む(7)、比喩的な表現が用いられた(8)のような用法は、それぞれ「究極の並列条件」、「究極の逆条件」とも呼ばれている。

---

差異がなく助言の表現として使える、②自分は(4b)は使わず(4a)を使う、③(4a)は上から目線の言い方なのに対し、(4b)はやさしく親切的な言い方である、の3つである。日本語でこの文脈にふさわしいのは、「テモ」を使用した(1a)であり、しかもこれに上から目線のニュアンスはない。③の意見に基づけば、「テモ」とそれに対応する韓国語にはニュアンスの上での対立があるということになる。

## 2-2. テモ構文に対応する英語・中国語の表現

〈表1〉は、前田（1993）の分類を基準に、藤井（2002）、張（2011）の説明を参照し、テモ構文と英語・中国語の対応関係を整理したものである。

〈表1〉テモの用法分類と対応する英語・中国語表現

日本語	英語	中国語	例文
①並列条件	if...also/ too	也	(1)
②並列・逆条件			(2)
③逆条件	(even) if...	(即使/尽管) ..., 也... <sup>2</sup>	(3)
④特殊用法 A (究極の逆条件)			(8)
④特殊用法 B (条件の反復)	whether...or...,	(无论) ..., 都/也...	(4) (6)
④特殊用法 C (究極の並列条件)	no matter wh-..., wh-ever... <sup>3</sup>	(无论) ..., wh-都/也... <sup>4</sup>	(5) (7)

以下に、張（2011）による前田の例文の中国語訳を挙げておく。( ) は省略可能なことを示す。

- (1)' 3 的平方是 9, -3 的平方也是 9。
- (2)' 想必结婚会有遗憾, 不结婚也会有遗憾的。
- (3)' 这个相机, (即使) 浸到水也不会坏。
- (4)' (无论) 吃饭还是喝酒, 都/也不长胖。
- (5)' (无论) 怎么吃都/也不长胖。
- (6)' (无论) 吃不吃都/也不长胖。
- (7)' (无论) 谁来找我, 我都/也拒绝。
- (8)' (即使) 天和地反过来也绝对不可能的。

## 3. 先行研究

テモ構文の英語、中国語との対照を試みた研究として、藤井（2002）、張（2011）がある。以下では、藤井と張の研究を参考に、テモ構文と英語・中国語表現の間に見られる、順接・逆接関係のずれの現象を紹介しておきたい。韓国語との対照研究については、日本語で読める文献を見つけ出すことができなかったが、中級韓国語の教科書に関連する記述を発見したので、3-3 でそれについて簡単に紹介する。

### 3-1. 日英対照

藤井（2002）に、テモ構文と英語の“even if”の用法のずれについての指摘がある。藤井によれば、(1a) の日本語のテモ構文に対応する文として、“even if”を使用した (1c) は文脈的に不適切で、

<sup>2</sup> 張（2011）では“即使…，也”“尽管…，也”は、それぞれ「仮定的譲歩」「事實的譲歩」を表すとされている。

<sup>3</sup> 藤井（2002）は、④特殊用法 B と④特殊用法 C のようなタイプを「テモ歪形構文」と呼んでいる。

<sup>4</sup> 2012 年度前期に筆者が担当した、東京外国語大学における講義で〈表1〉を示したところ、数名の中国人受講生から疑問語の後には「都」が使用されるのが自然で、「也」の使用は不自然であるとの指摘があった。しかし、実際には「也」が使用される場合があり、その選択基準を尋ねたところ、明快な説明を得ることはできなかった。

(1b) のような順接条件を用いなければならないとされる。

- (1) a ここで待っていても、バスは来ませんよ。あちらでお待ちにならないと。  
 b If you wait here, the bus won't pick you up. But if you wait at that other bus stop over there, it will.  
 c #Even if you wait here, the bus won't pick you up.  
 d Even if you wait here all day, the bus won't pick you up.

藤井によれば、英語の EVEN IF 譲歩条件構文では、スケール性が中心的な不可欠要素であり、スケール概念に基づく解釈が常に生じるとされる。(1d) は「一日中待っていても」という意味により、スケール性の解釈が可能となり、“even if” が使用可能な文となる。

一方、日本語のテモ譲歩条件構文の意味構造においては、スケール概念とスケール含意は可能であるが必須の要素ではない。(1a) で「テモ」が使用されるのは、日本語では、話し手が聞き手の予測・目的・期待に共感し、その期待を打ち消すことを意図する発話において、「逆説性」がスケール概念から独立して文法化されているからだと説明されている。

### 3-2. 日中対照

張 (2011) は、藤井 (2002) の研究に触発され、日本語のテモ構文と中国語の順接・逆接条件表現の対応関係を調査した研究である。中国語母語話者に対し、3種類のアンケート調査を実施した。一次アンケートでは、①中国人の日本語学習者への日本語版アンケート、②日本語学習経験のない中国語母語話者への中国語版アンケート (①の翻訳版) を実施し、それぞれ 69 人分、102 人分のデータについて分析を行なった。二次アンケートでは、中国語の順接と逆接表現のニュアンスの相違について、母語話者 28 人の内省を尋ねた。以上の調査結果を考察した結果、中国人日本語学習者は母語における逆接条件と順接条件の使用規則に影響され、日本語の使用に誤用を起こすことが明らかとなった。

張の調査結果の中で注目すべき点は、日本語の「テモ」に対して中国人学習者が順接条件の「タラ」「バ」を選択する傾向が強いのは、スケール概念をもたず、かつ中国語の“(即使/尽管) …, 也…”が使用されないような例であるという指摘である。以下の表の最下段の 5 例がそうした例であるが、その詳細は、4-2-1 で示すことにする。アンケート例文番号は、本稿末の【付録資料 3】に対応している。

〈表 2〉 日本語のテモ構文と中国語表現の対応関係

スケール概念の有無	アンケート例文番号	日本語	中国語
		テモ	(即使/尽管) …, 也…
スケール概念がある	(1) (9) (14) (20) (24)	○	○
スケール概念がない	(3) (10) (15) (17) (23)	○	○
	(5) (7) (13) (18) (22)	○	×

本稿では上記の指摘に着目し、中国語母語話者以外の日本語学習者にも同様のアンケート調査を行いこの点を検証することにした。張(2011)の調査結果の詳細は、次節で本稿の調査結果との比較を行う際に、改めて取り上げることにしたい。

### 3-3. 韓国語の場合

日本語で読めるテモ構文の韓国語との対照研究は、管見の限りでは見当たらなかったが、中級韓国語教科書に、関連する記述を発見した。以下は、「テモ」に対応する韓国語の接続表現「-어도」に対し、補足的に添えられた説明文の引用である。(河村・李 2005:226)

すでに知っている文型の中では、어도以外に면も譲歩の用法をもっています。  
 지각하면 난 몰라 (遅刻してもぼくは知らないよ)<sup>5</sup>

「-면」[mjɔn]「-어도/-아도」[ɔdo/ado]は、それぞれ日本語の「たら・ば・と」「テモ」に相当する韓国語の接続語尾であるが、日本語では「テモ」を使うのが自然である場合に、韓国語では順接条件の「-면」が使用されることがあるという指摘である。しかし、この教科書でこれ以上詳しい説明はなされていない。

## 4. 本稿の調査

張(2011)は、調査対象を中国語母語話者に絞った研究であるため、本稿では、張の調査結果との相違を見るために、調査対象者の母語の種類を増やし、2種類の調査を実施した。以下に2つの調査の詳細を示す。

### 4-1. 調査方法

#### 〈調査1〉

調査1は、2012年6月15日～6月26日にかけて、筆者が担当する学部の授業の受講生に対し実施した。実施場所は、東京外国語大学の「日本語研究」、および創価大学の「日本語現代文法A」の教室で、それぞれの授業の最後の10分程度を使い実施した。回答者の内訳は、日本語学習者27名、日本語母語話者18名の計45名で、それぞれの属性は下記のとおりである。

〈表3〉日本語学習者の属性

母語		日本語学習期間	日本滞在期間	平均年齢
中国語	11人	約4.5年	約2年	22.4歳
韓国語	10人	約5.1年	約1.6年	24.6歳
※その他	6人	約5.7年	約2.5年	23.0歳
合計	27人	平均 約5.1年	平均 約2年	23.3歳

※「その他」の学習者の母語の内訳は、シンハラ語2名、モンゴル語、タイ語、英語、中英語バイリンガル各1名

〈表4〉日本語母語話者の属性

言語形成地域(方言)					合計	平均年齢
東北	関東	近畿	中国	九州	18人	20.2歳
1人	10人	4人	2人	1人		

<sup>5</sup> 韓国語の例の日本語への直訳は、「遅刻 {すれば/したら} ぼくは知らないよ」となる。テキストの例文の日本語訳の「ても」の下線は蓮沼が追加。

調査票は、張（2011）の調査票に最小限の修正を加えたものを使用した。質問項目は、日本語の順接・逆接条件のどちらかが使用される文脈を有する 25 の例文をランダムに配置し、選択肢から適切と判断される接続形式を選択させるものである。母語話者用と非母語話者用に別々のものを用意したが、アンケートの内容は同一である（非母語話者用の調査票を【付録資料 3】として添付）。

## 〈調査 2〉

調査 2 は、調査 1 に協力してくれた韓国語を母語とする 10 人の日本語学習者を対象に実施した。調査 1 の日本語版の調査票の韓国語訳版を用い、調査 1 から約 1 か月の期間をおき実施した。

### 4-2. 調査結果

2 つの調査結果を整理し、それぞれの全体の傾向を以下に指摘する。

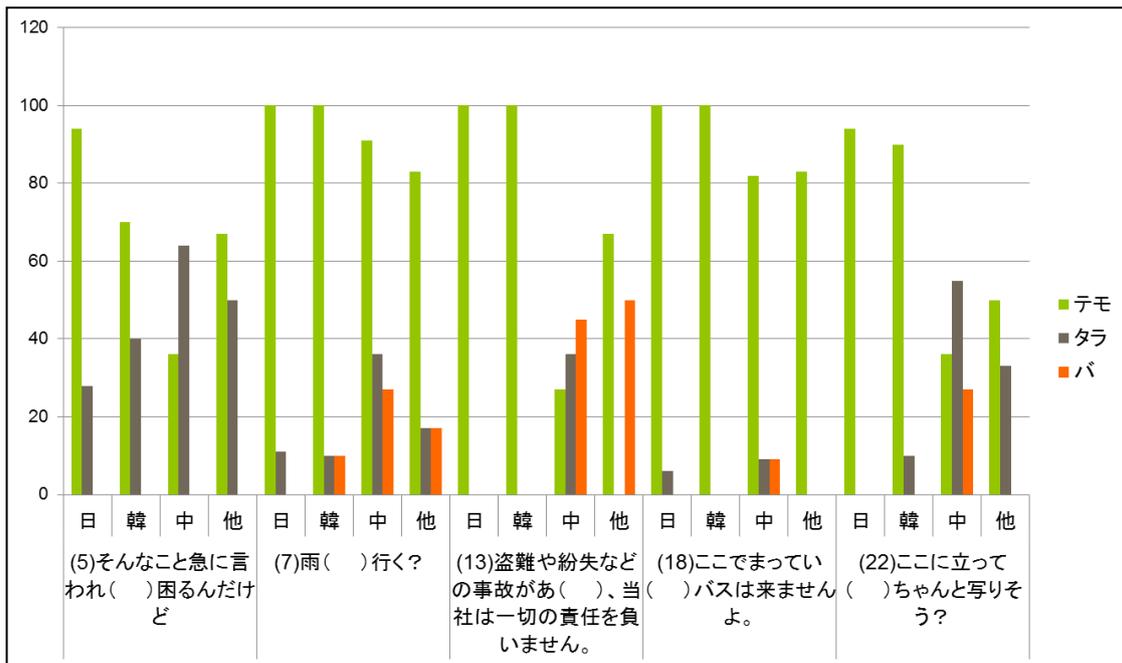
#### 4-2-1. 調査 1 の結果

アンケートで使用した 25 の例文のうち、被験者の母語によって選択傾向に差異が認められる例が 5 例あった。これらの例は、張（2011）の中国人日本語学習者に対する調査でも、日本語母語話者との間に目立った相違が認められたものである。〈表 2〉の最下段の 5 例がそれに該当するが、それを以下に示す。

#### 【アンケートの 5 例】

- (5) 甲：明日、ゼミの発表、私の番なんだけど、ちょっと急用ができちゃって…代わりに発表してもらっていい？  
乙：えっ、そんなこと急に\_\_\_\_\_困るんだけど…  
A. 言われたら      B. 言われても      C. 言われれば
- (7) 甲：明日ピクニックに行くよね。  
乙：そうね。天気どうかな。雨が降りそうとか言ってたけど、雨\_\_\_\_\_行く？  
A. だったら      B. でも      C. なら
- (13) [ゴルフ場の利用約款の一つ]  
盗難や紛失などの事故が\_\_\_\_\_、当社は一切の責任を負いません。  
A. あったら      B. あっても      C. あれば
- (18) [このバス停は日曜日にはバスが止まりません。それを知らない一人のおばあさんがそこでバスを待っています。あなたは思いやりを持っておばあさんに言います。]  
あの、ここで\_\_\_\_\_バスは来ませんよ。あちらでお待ちにならないと。  
A. 待っていたら      B. 待っていても      C. 待っていれば
- (22) [集合写真の撮影時、自分の後ろに立っている人に向かって]  
あたし、邪魔になってない？ ここに\_\_\_\_\_ちゃんと写りそう？ しゃがんだほうがいい？  
A. 立ってたら      B. 立ってても      C. 立ってれば

調査 1 の 5 つの例文における接続形式の選択状況を、母語の違いに基づく 4 グループに分け、〈図 1〉に示す。



〈図1〉母語別の接続形式の選択状況（単位%）

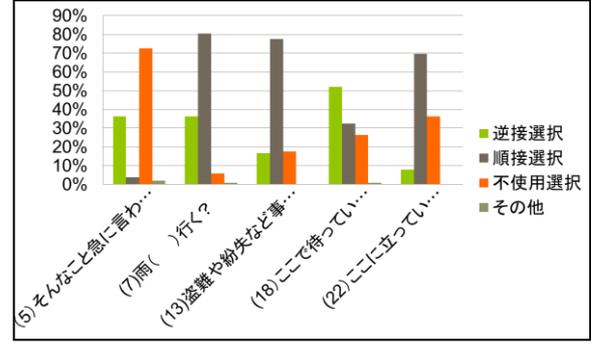
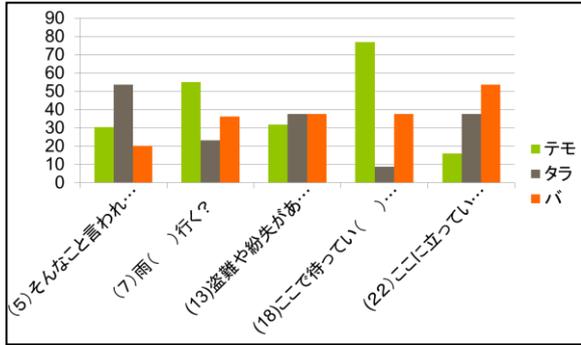
調査1の結果からは、以下のような特徴が指摘できる。

- 1) 韓国語話者は日本語話者と総じて似た選択傾向を示す。これは、両言語の文法構造と発想法の近さを示唆するものである。
- 2) 中国語話者は、日本語話者が「テモ」を選択するところに順接の「タラ」「バ」を使用する傾向がある。例文(13)(22)でそれが顕著である。
- 3) 「その他」のグループは分母が少ないので、特徴の指摘が難しいが、例(13)で6名中の3名が「バ」を選択しているところが注目される。この点は、中国語話者と似た傾向をもつが、「タラ」を選択した人はゼロである。一方、中国語話者の36%が「タラ」を選択しており、この点で、両者には違いがある。
- 4) 回答を寄せた日本語学習者は、日本語学習歴も長く、回答に当たり、日本語に対する知識によるモニターを働かせていることが示唆される。(18)で、日本語話者と似た選択傾向があるのは、そうした操作の結果ではないかと思われる。

参考資料として、張（2011）の調査における、日本語版の5例、およびその中国語版における選択状況を、〈図2〉〈図3〉<sup>6</sup>に示す。詳細の検討は、5節の考察でまとめて行う。

<sup>6</sup> 張（2011）における中国語の表現に対する順接・逆接の判定基準は、以下のとおりである。選択肢①～⑥の提示例は、【付録資料1】を参照されたい。

逆接選択	②④（“即使/尽管…，也…”“…，也…”のいずれかを選んだもの）
順接選択	①③⑤（“如果…，就…”“如果…，…”“…，就…”のいずれかを選んだもの）
不使用選択	⑥（“不使用关联词语”を選んだもの）
その他	六つの選択肢以外の回答

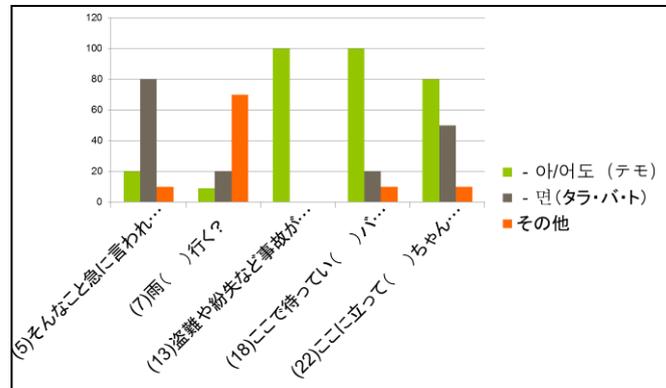


〈図2〉日本語版における選択状況（単位%）

〈図3〉中国語版における選択状況（原文中国語）<sup>7</sup>

#### 4-2-2. 調査2の結果

韓国語版の5例の接続形式に対する韓国人日本語学習者の選択状況を〈図4〉に示す。



〈図4〉韓国語版における選択状況（単位% 原文は韓国語）<sup>8</sup>

調査2の結果からは、以下の3点が指摘できる。

- 1) 例文(5)の韓国語の文では、順接表現の「면」の選択率が高い(80%)。日本語版の調査1では、70%近い人が「テモ」を選択している点で対照的である。
- 2) 例文(7)において、「その他」の選択が多かったのは、韓国語の選択肢に挙げられていた表現が日本語からの直訳の「雨でも」であったためである。韓国語では「雨が来ても」「雨が来れば/来たら」が自然な表現のため、そちらを適切な表現と判断した結果だと考えられる<sup>9</sup>。
- 3) 例文(22)は、母語の韓国語では、5割が順接条件を選択しており、日本語版の場合よりも順接の選択率が高く、日韓両語における相違の存在が示唆される。

上記以外の特徴については、次節での例文別の分析と考察で取り上げることにはしたい。

<sup>7</sup> 5例の中国語訳については、本稿末尾の【付録資料1】を参照されたい。

<sup>8</sup> 5例の韓国語訳については、本稿末尾の【付録資料2】を参照されたい。

<sup>9</sup> 「その他」の記入例は次のとおり。「외도 (来ても)」4例、「오면 (来たら/来れば)」1例、「내려도 (降っても)」1例、「내리더라도 (降ったとしても)」1例 (計7例)

## 5. 結果の分析と考察

この節では、アンケートの例文(5)(7)(13)(18)(22)のそれぞれについて検討を加え、そこから示唆される事実を箇条書きで整理しておきたい。

### 例文(5) そんなこと急に言われ( ) 困るんだけど。

- 1) (5)の前件・後件は、順接関係を表し、「タラ」を使用することも可能である。この場合、「テモ」はこれ以外の条件があることを暗示し、「タラ」よりも柔らかいニュアンスをもつ(やわらげの「も」)。
- 2) 〈図1〉では、すべてのグループで「テモ」か「タラ」が選択され、「バ」を選択した人はゼロである。「日・韓」では、「テモ」が優勢なのに対し、「中」では「タラ」が優勢である。学習経験が長い学習者は「バ」が後件に〔反期待性〕の内容をとれないという制約を直感的に理解していることが窺われる。
- 3) 〈図2〉において、中国人日本語学習者は、「テモ」(30%)よりも「タラ」「バ」を選択する傾向が強い(両方で70%以上)。
- 4) 〈図4〉の母語韓国語の例では、「テモ」に当たる「-아/어도」ではなく、順接条件の「-면」を8割が選択している。一方、〈図1〉の日本語版の例では、7割の回答者が「テモ」を選択しており、母語と日本語で相違が認められる。韓国語話者は、日本語能力も他のグループより高く、日本語の調査では母語と日本語の相違を意識し、調整を行なっている可能性がある。

### 例文(7) 雨( ) 行く？

- 1) 〈図1〉では、4グループの全てにおいて「テモ」を選択する傾向が強く、「日・韓」では、100%が「テモ」を選択している。「中」では、「タラ」「バ」も一定数選択されている。
- 2) 例(7)の条件節は、「雨の場合」「雨が降った場合」という状況設定を表し、順接条件の「雨だったら」「雨なら」と類似する意味をもつ。「中」の約6割が順接条件を選択しているのは、その反映と考えられる。
- 3) 母語中国語による調査では、順接の選択が逆接を大きく上回っており、日本語の接続形式の選択に母語の影響が考えられる(⇒〈図3〉)。

### 例文(13) 盗難や紛失などの事故があ( ) 当社は一切の責任を負いません。

- 1) 〈図1〉では、「中」が順接表現を選択する傾向が強い。前件が「盗難や事故があった場合」に近い意味を表すためではないかと考えられる。
- 2) 〈図2〉〈図3〉でも、中国語話者は日本語と母語の中国語の両方において、順接の選択が優勢である。
- 3) 〈図1〉において、「日」「韓」では、100%が「テモ」を選択している。
- 4) 中国語では、順接条件を表す“如果”(=「もし」)は、客観的で正式な表現で、穏やかに注意を述べる表現である。一方、逆接の“即使…，也”(「たとえ～ても」)は責任を取らないことを強調し主張する、きつく圧迫感を与える表現で、客観的な条文には不適切だとされる(張 2011)。中国語話者の順接表現の選択には、母語の影響が考えられる。

### 例文(18) ここで待ってい( )、バスは来ませんよ。

- 1) (18)の前件・後件の関係は、事態間関係に着目すれば順接関係であり、順接条件としての把握が可能である。
- 2) 「バ」の個別条件用法では、後件に[反期待性]の意味をもつ事態が使えないという制約があり、「バ」は排除される。「タラ」の使用は不可能ではないが、「テモ」の使用がいっそう自然である。日本語母語話者の選択には、それが反映されている。
- 3) 日本語では、後件が「聞き手」の期待に反しているという側面を捉え、逆接的な「テモ」が使用される。韓国語の例でも同様の捉え方がされる傾向があり、全員が「テモ」に対応する韓国語表現の「-어도/-아도」を選択している。
- 4) 韓国語の「-면」は、上記2)の日本語が有する制約をもたないため、この場合にも使用可能である。〈図4〉で、2名が順接を選択しているのはそのためであろう。
- 5) 中国語の逆接表現の“就是…，也”には、「どこで待っても乗れない」ことを強調する意味があるのに対し、順接に相当する「関連詞不使用」は、婉曲で穏やかな言い方であるとされる(張 2011)。日本語の接続形式の選択において、「中」が順接を選択する傾向が若干強いことには、母語の影響が考えられる。

### 例文(22) ここに立ってい( )ちゃんと写りそう？

- 1) 〈図1〉を見ると、「日・韓」と「中・他」で大きな違いが出ている。特に「中」では順接の「タラ」「バ」を選択する割合が「テモ」を超えている。
- 2) 〈図3〉の母語の中国語による調査でも、中国語話者には、同様の傾向がある。
- 3) (22)はかなり複雑な状況設定であるため、文脈を読み間違えている可能性も排除できないが、「日」「韓」では、「ここに立っていても大丈夫か」といった相手の都合を配慮する意図を「テモ」によって表していると考えられる。
- 4) 「中」が順接の「タラ」「バ」を選択する傾向をもつものには、母語の影響が考えられる。中国語の逆接表現“(就是)我站在这里，你也看得到镜头吗？要不我蹲下来一点？”には、「自分が立っても立たなくてもあなたはカメラが見える」から「しゃがまなくてもいい」という失礼なニュアンスがある。一方、順接条件“如果我站在这里，你看得到镜头吗？要不我蹲下来一点？”には、もし相手の邪魔になっているのなら場所を変更するという、相手を思いやる気配りがあり、丁寧な言い方だとされる(張 2011)。

## 6. まとめと今後の課題

本稿では、日本語のテモ構文に対し、英語・中国語の順接表現が用いられる場合があるという藤井(2002)と張(2011)の研究を継承し、母語による相違点を見るために、中国語・韓国語・英語を含む6つの外国語を母語とする日本語学習者と日本語母語話者を対象に、小規模なアンケート調査を試みた。その結果、母語話者が優先的に「テモ」を選択する例文に対し、学習者が順接条件の「タラ・バ」を選択するケースが複数観察された。ここでは、こうした現象をもたらす理由について考察を加え、本稿のまとめとしたい。

「テモ」に外国語の順接表現が使用される理由は、「テモ」は、逆接専用の接続形式というわけではなく、順接条件としての性質を内在させているという点に求められる。例えば「中央線に乗れば東京

駅に行ける。地下鉄を使っても行ける」のように、順接条件が並列される場合の2番目の条件文には、「テモ」が使用されるという事実がこのことを端的に示している。つまり、テモ構文は順接条件の「PナラバQ」において、P以外の場合にもQが成り立つことを表わす条件文であり、この点において順接条件と共通する性質を有した文と捉えることが可能である<sup>10</sup>。5節で観察した5つの例文は、いずれも「Pの場合Q」といった意味をもち、Qが成立する場合・状況の設定をPが担っているケースである。事態間の関係に着目すれば、いずれも順接関係の文としての把握が可能な場合であり、したがって「タラ」「バ」で接続しても、何ら矛盾は生じないといえる。

中国語と英語の、“即使…，也”“even if”は、仮定性とスケール含意を伴って使用されるもので、「たとえ（どんなに）～であっても」といった意味をもつ<sup>11</sup>。例えば、(13)のゴルフ場の約款の例で中国語の“即使…，也”を使うと、「何があっても責任を負わない」という断固とした拒絶の意図を表わすことになり、中国語では大変失礼な表現となる。一方、順接条件の“如果…”は、客観的に事実を述べ、穏やかに注意を促すニュアンスをもつ。中国人の日本語学習者が、高い割合でこの文に順接条件の「タラ」「バ」を選択するのは、母語の影響によると考えられる<sup>12</sup>。

日本語の「テモ」は、中国語とは対照的に、スケール含意を伴うことなく、聞き手に対する思いやりや配慮を表す表現として使用可能である。例えば、(13)において「PテモQ」は、Qが顧客の期待に沿うものではないという意味での逆接性を表すが、それによって顧客に対する配慮を表わしていると考えられる。一方、順接条件の「バ」はQに[反期待性]の事態をとれないという制約をもつため、ここでの使用は不適切である。また、「タラ」はくだけた口語的なニュアンスをもつため、約款の条文にはふさわしくない。(13)において、母語話者が順接の「タラ・バ」ではなく、逆接の「テモ」を優先的に選択するのはそのためである。(18)(22)も同様のケースであり、日本語では中国語とは対照的に、「テモ」によって相手に対する思いやりを表すことが可能だといえる。

「テモ」は、逆接条件としての使用が用法の主流ではあるが、順接条件としての性質を内在的に有しており、したがって、学習者の母語によっては、順接表現を使用するほうが適切になる場合があっても、何ら不思議ではないと言えるのである。

本稿には残された課題も多い。まず、日本語学習者に対する調査については、異なる母語をもつ学習者を対象に、被験者の数を増やした調査が必要である。また、本稿のように、微妙なニュアンスの相違が問題となる例について対照研究を行う場合は、対照する外国語に対する深い知識と鋭い語感が分析者には要求される。本稿は、そうした知識・能力が不十分な筆者が、限定的な量のデータと先行研究を参考に試みた考察であるという点で、限界を認めざるを得ない。この点については、対照する外国語を母語とする研究者の協力が不可欠である。アンケートに使用した例文にも課題が残った。例文には、明確な文脈が喚起され、被験者の解釈にゆれが生じないような文を用いる必要がある。被験者により文脈の解釈が異なるようでは、正確な結果は得られないからである。事例はなかなか探し出

<sup>10</sup> 鈴木(2009)を参照。鈴木は、条件文の基本的意味を「条件関係『PナラバQ』は、Pが成り立つ場合と成り立たない場合とに分けをし、Pが成り立つ場合には、いつも(必ず)Qが成り立つという関係を表す」と規定している。そして、「テモ接続の文」がこの規定を満たす性質を有していることを根拠に、これを条件文の中に位置づけ、「この文が並列性、逆接性、譲歩性を持っていることは、この文が条件文であることと何ら矛盾していない」と述べている。

<sup>11</sup> 但し“即使…，也”は、「パーティに行っても楽しくないだろう」のように、スケール概念を伴わない逆接条件にも使用されるとされ(張2011)、この点で英語の“even if”とは異なると考えられる。

<sup>12</sup> 張(2011)によれば、本稿で取り上げた5例は、いずれもスケール概念をもたず、かつ中国語では“(即使/尽管)…，也”では表現されない文であるとされる(〈表2〉を参照)。

しにくいケースだが、対訳コーパスの調査も検討に値する。

日本語は他の言語よりも「逆接性」がカバーする範囲が広いように思われる。順接と逆接の境界とそれを表示する言語表現は、言語間で範囲のずれが認められる。日本語における「逆接」というカテゴリーの内実、およびそれによってカバーされる範囲の他言語との相違の解明は、困難ではあるが極めて興味深い研究テーマである。本稿ではそのほんの一部を垣間見るに留まったが、研究方法に洗練・改良を加え、今後も継続的に探究を続けてゆきたいと思っている<sup>13</sup>。

## 参考文献

- シン・ヒョンスク (2012) 「『-면』は逆接を表しているか」『日本言語研究』2012 年度前期期末レポート、東京外国語大学
- 鈴木義和 (2009) 「条件文とは何か」『神戸大学文学部紀要』36、pp.69-94
- 鈴木義和・孫 哲 (2010) 「日本語と韓国語の条件文の対照研究」『国文論叢』43、pp.83-104 (神戸大学文学部国語国文学会)
- 田中廣明 (2005) 「(even) if 再考—譲歩か条件か—」『関西外国語大学研究論集』82、pp.19-34
- 張 帆 (2011) 「逆接条件表現の日中対照研究—『テモ』と“(即使/尽管) …, 也…”の比較を中心に—」創価大学大学院文学研究科修士論文
- 鄭 亨奎 (1994) 「接続表現の日中対照研究—譲歩文を中心に—」『広島大学教育学部紀要』43、pp.247-254
- 日本語記述文法研究会編 (2008) 『現代日本語文法⑥ 第11部 複文』くろしお出版
- 蓮沼昭子 (1987) 「条件文における日常的推論—『テハ』と『バ』の選択要因をめぐって—」『国語学』150、pp.1-14
- 藤井聖子 (2002) 「所謂『逆条件』のカテゴリー化をめぐって—日本語と英語の分析から」生越直樹編『対照言語学』(シリーズ言語科学4)、東京大学出版会、pp.249-280
- 前田直子 (1993) 「逆接条件文『~テモ』をめぐって」益岡隆志編『日本語の条件表現』、くろしお出版 pp.149-167
- 前田直子 (2009) 『日本語の複文—条件文と原因・理由文の記述的研究—』くろしお出版
- ユン・ソクジュ (2012) 「韓国語の接続語尾『면』の逆接条件での使用について」『日本言語研究』2012 年度前期中間レポート、東京外国語大学
- 李 光赫 (2011b) 「期待性から見る日中条件表現の対照—中国語の“p, 才 q”との対照を中心に—」『言語科学論集』15号、pp.61-74 (東北大学大学院文学研究科言語科学専攻)
- 渡邊文生 (1991) 「『~した場合』構文の意味特徴」『計量国語学』18巻1号、pp.1-8

<sup>13</sup> 以下は学習者の作文の例だが、いずれも順接の「ト・バ・タラ」の代わりに「テモ」を使用したほうが自然である。その理由を解明するためには、日本語話者の逆接性に対する捉え方の内実や逆接表現の使用動機について、本稿の分析よりも、いっそう広い観点からの考察が必要である。

- a [初級の日本語教育の教科書から「~てあげる」系は切り捨ててはどうかという論文の提案に対して]「~てあげる」がないと、本当に方向性を表しきれぬのか。(中国人大学院生のレジユメのコメント)
- b 仕事を捜すために本土に行かなければならない人がたくさんいる。だから、もし一年半の後に、ホバートに帰れば多くの友達がいない。(オーストラリア) (市川編著 2010:612)
- c ドイツでは、外でも家の中でも一日中靴を履いていたら問題ありません。(ドイツ) (同上: 361)

## 教科書・辞典

市川保子（編著）（2010）『日本語誤用辞典』スリーエーネットワーク

河村光雅・李秀旻（2005）『しっかり身につく中級韓国語トレーニングブック』ペレ出版

呂叔湘（主編）牛島徳次・菱沼透（監訳）（2003）『中国語文法用例辞典—《現代漢語八百詞増訂本》日本語版』東方書店

**【付録資料 1】 5例の中国語版アンケート（張 2011）**

[選択肢①～⑥から適切なものを選択する。複数回答可。選択肢にない場合は（ ）に記入するよう指示]

①如果…，就…	② 即使…，也…	③ 如果…，…
④ … ，也…	⑤ … ，就…	⑥不使用关联词语

- (5) A: 明天的课轮到我对这次的调查结果做总结报告。可是我突然有点事儿，来不及准备。我可不可以跟你换一下，明天就由你先做报告？  
B: 啊？\_\_\_\_\_你突然这么说，我\_\_\_\_\_很为难。
- (7) A: 明天我们是去郊游对吗？  
B: 是啊。不知道明天天气怎么样。\_\_\_\_\_下雨，你\_\_\_\_\_去吗？
- (13) (高尔夫球场的利用条款中写有这样一条)  
\_\_\_\_\_发生被盗或遗失，本公司\_\_\_\_\_不承担任何责任。
- (18) (这个车站在周日的时候，公车只路过，不在这停。一位不知情的老奶奶在等车，于是你想过去想告诉她这里今天不停车。)  
奶奶，您好，\_\_\_\_\_您在这等，\_\_\_\_\_等不到车的，您得去那边等才行。
- (22) (集体合影的时候，对后面的人说)  
我有没有挡住你？\_\_\_\_\_我站在这里，你\_\_\_\_\_看得到镜头吗？要不我蹲下来一点？

**【付録資料 2】 5例の韓国語版アンケート文**

[以下の5例は、【付録資料 3】のアンケート文を韓国語に翻訳したものである。翻訳は、高校時代から韓国語を学習し、韓国の大学に1年留学経験をもつ日本語母語話者の学部生に依頼し、韓国語母語話者のチェックを受けたものである。]

- (5) A: 내일 발표 내 차례인데 좀 급한 일이 생겨가지고… 대신에 발표해 주면 안 돼?  
B: 그런 소리 갑자기 \_\_\_\_\_ 곤란한데…  
A. 들으면 B. 들어도 C. \_\_\_\_\_
- (7) A: 내일 피크닉 갈꺼지.  
B: 그래. 날씨가 어떨까. 비가 내린다던데, 비 \_\_\_\_\_ 가?  
A. 면 B. 라도 C. \_\_\_\_\_
- (13) [골프장 이용기약의 하나]  
도난이나 분실 등의 사고가 \_\_\_\_\_ 당사는 모든 책임을 지지 않습니다.  
A. 있으면 B. 있어도 C. \_\_\_\_\_
- (18) [이 정류장은 일요일엔 버스가 안 옵니다. 그걸 모르는 할머니가 혼자 버스를 기다리고 있습니다. 당신은 할머니께 친절하게 말을 겁니다.]  
저기요. 여기서 \_\_\_\_\_ 버스는 안 와요. 저 쪽에서 기다리셔야죠.  
A. 기다리시면 B. 기다리셔도 C. \_\_\_\_\_
- (22) [단체사진을 찍을 때, 내 뒤에 있는 사람한테]  
나 방해되지 않아? 여기 \_\_\_\_\_ 잘 나올려나? 좀 숙이는게 나아?  
A. 서 있으면 B. 서 있어도 C. \_\_\_\_\_

接続表現使用についてのアンケート調査 (非母語話者用)

記入日： 20 年 月 日

【回答者のプロフィール】  
 性別 (男・女) 年齢： 才 母語/第一言語： 語 ( 方言)  
 日本語学習期間の合計： 年 か月 日本語在期間の合計： 年 か月

【質問】 ABCの中で正しいと思うものに○をつけてください (複数選択可)。

- あの人日本は日本のチャレンジオンだから、私が毎日練習\_\_\_\_\_、勝てるはずがない。  
 A. したら B. しても C. すれば
- 今日はどうもありがとう。今度時間が\_\_\_\_\_、ぜひうちにも来てください。  
 A. あったら B. あっても C. あれば
- 甲：どっちが面白いかな、ちよと飲んできな。  
 乙：私、乗船が面白いから、\_\_\_\_\_、違いが分からないじゃないかな。  
 A. 飲んだら B. 飲んでも C. 飲めば
- 甲：すみません、その日は用事が入っていて、ちよと...  
 乙：あつ、そう。時間が\_\_\_\_\_来なくてもいいよ。  
 A. なかったら B. なくても C. なければ
- 甲：明日、ゼミの発表、私の番なんだけど、ちよと急用ができてちよと... (代わりに発表してもらっていい?)  
 乙：えつ、そんなこと急に\_\_\_\_\_因るんだけど...  
 A. 言われたら B. 言われても C. 言われれば
- 大丈夫だよ、ちやんと配置\_\_\_\_\_きつと合格できるよ。  
 A. したら B. しても C. すれば
- 甲：明日ピクニックに行くよな。  
 乙：そうね、天気どうかな。雨が降りそうとか言ってたけど、雨\_\_\_\_\_行く?  
 A. だったら B. でも C. なら
- 甲：それすてきな!  
 乙：本当? ありがとう。ちよとどバーゲンで、安かったのよ。バーゲン\_\_\_\_\_、買わなかったと思うよ。  
 A. じゃなかったら B. じゃなくても C. じゃなければ
- そんなことは天地が\_\_\_\_\_起こらないから安心しろ。  
 A. ひっくり返ったら B. ひっくり返っても C. ひっくり返れば
- うちの上司はね、結果だけ見るの。努力\_\_\_\_\_結果が出なければ認めしてくれないのよ。  
 A. したら B. しても C. すれば
- 甲：じゃ、お先に。  
 乙：了解です。家に\_\_\_\_\_、電話ください。  
 A. 着いたら B. 着いても C. 着けば (裏に続く)

【付録 3】

- 早く乗気が回復してほしいなあ。乗気が\_\_\_\_\_、売り上げが上がるから。  
 A. よくなったら B. よくなっても C. よくなれば
- 【エルフ場の利用約款の一つ】  
 盗難や紛失などの事故が\_\_\_\_\_、当社は一切の責任を負いません。  
 A. あったら B. あっても C. あれば
- おじいちゃん、おばあちゃんに\_\_\_\_\_一緒にいたいね。  
 A. なったら B. なっても C. なければ
- 甲：あなたが引き止めないから、直轄、帰っちやったじゃない。  
 乙：いや、\_\_\_\_\_帰っちやったと思うよ。  
 A. 引き止めたら B. 引き止めても C. 引き止めれば
- この薬、すこく効くよ。\_\_\_\_\_熱はすぐ下がるから。  
 A. 飲んだら B. 飲んでも C. 飲めば
- 甲：今日、具合はどう? 今度のパーティー、どうする?  
 乙：まだ頭が痛いので、やっぱりおとなしく寝ていることにするわ。\_\_\_\_\_楽しくないだろうし。  
 A. 行ったら B. 行っても C. 行けば
- 【このバス停は日曜日にはバスが止まりません。それを知らない一人のおばあさんがそこでバスを待っています。あなたは思いやりを持っておばあさんに言います。】  
 ああ、ここで\_\_\_\_\_バスは来ませんよ。あちらでお待ちにならなさいよ。  
 A. 待っていたら B. 待っていても C. 待ていければ
- 甲：最近、全然旅行に行っていないな。  
 乙：そうだね。今度休みが\_\_\_\_\_、一緒にどこかへ遊びに行こうか。  
 A. 取れたら B. 取れても C. 取れれば
- 大きな選手だから、明日台風が\_\_\_\_\_コンナートには行きます。  
 A. 来たら B. 来ても C. 来れば
- 5時に\_\_\_\_\_帰ってくるでしょう。  
 A. なったら B. なっても C. なければ
- 【集合写真の撮影時、自分の後ろに立っている人に向かって】  
 あたし、邪魔になってない? ここに\_\_\_\_\_ちやんと写りそう? いやかんだほうかい?  
 A. 立ったら B. 立っても C. 立てれば
- この辺はあまり雪が降らないよ。\_\_\_\_\_ほとんど降もらないよ。  
 A. 降ったら B. 降っても C. 降れば
- あの人にはたくさん\_\_\_\_\_太らないよ。  
 A. 食べたら B. 食べても C. 食べれば
- あなたが応援して\_\_\_\_\_試合に勝てるかもしれないよ。  
 A. くれたら B. くれても C. くれれば

★ご協力ありがとうございました★